

技術で未来拓く

—産総研の挑戦—

(223)

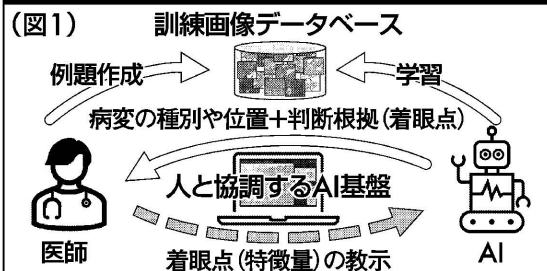
してきた。医療や自動運転、与信など、生命や安全、財産に重大な影響を与えうる分野で、知識や経験を持つ人のみが果たしてきた役割にAIを活用することも本格化しつつある。

強力な道具

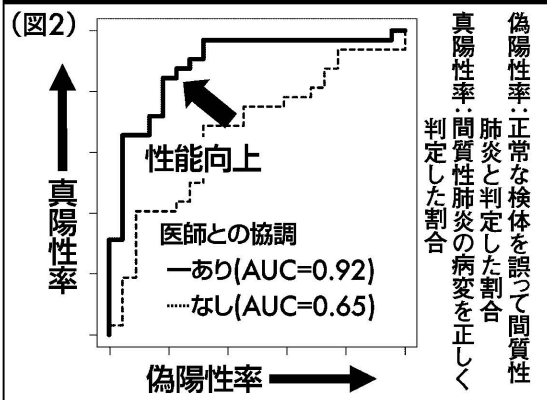
人工知能（AI）は、小売り・サービスや生活家電など日常生活のさまざまな場面に浸透し、広告や電子商取引などのビジネスにおける強力な道具となり、現代社会に欠かせない技術になっていく。利用者に安心感を与え信頼されるように、AIによる判断の根拠を人が理解できるようにする技術も発達

医師の経験学び病理診断

医師との協調でAIの病理診断の精度を高める



AIの正診率の向上



長崎大と開発

産業技術総合研究所 技術の研究開発」を実施している。このプロジェクトで、我々は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科と共同で、

「実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能」を技術の研究開発」を実施している。このプロジェクトで、我々は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科と共同で、

信頼性を評価

また、AIの計算過程と医学的知見の関連が明確になるため、医師がAIの信頼性を評価しつつ、正しく最終

産総研 人工知能研究センター 総括研究主幹

坂無 英徳



プロフィール

大学在学中から人の知的作業を支援するソフトウェア技術の研究に取り組んできた。画像診断支援AIに従事して15年ほどになるが、協力してくださる医師のエネルギーと頭の良さに敬服するばかり。多くの専門家の奥深い知見を幅広く吸収しながら、新たな知識を生み出せるようなAI基盤の実現を目指している。

人と協調するAI開発

「実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能」を技術の研究開発」を実施している。このプロジェクトで、我々は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科と共同で、